（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	ワンライフOKAZAKid's			
○保護者評価実施期間	2025年9月1日		～	2025年9月30日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	27	（回答者数）	16
○従業者評価実施期間	2025年9月1日		～	2025年9月30日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	7	（回答者数）	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プログラム内容の工夫 スタッフで案を出し合い、日々のプログラムに取り組むことができていること	・プログラム内容が固定化されないようみんなで意見を出し合うこと ・同じ内容にならないようにやり方を変えて行うなどしている	・ペアレントトレーニングを計画していきたい ・研修などに積極的に参加し新たな技術を習得
2	SNSを活用し、活動を認知してもらえるようにしている	・インスタグラムなどで活動内容の報告をあげ、目に留まるようなデザインで投稿している ・日本語、ポルトガル語で翻訳している	・支援内容の共有や支援グッズの紹介などを行っていきたい
3	自分で選択する場をつくり自己決定するを育てるための支援をおこなっていること、	・スタッフにある程度の裁量を与え、自分で考えて選択する力を育てられるようにしている	・支援について適時フィードバックをして、向上心や学びの意欲に繋げていきたい

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との繋がりが少ない	・地域の行事をあまり知らないこと ・参加方法が分からないこと	・市役所などでイベントの紹介を聞くなどする ・他事業所がどのように地域との繋がりをもっているか聞いてみる
2	活動スペースの確保	・施設の大きさは仕方ないが、活動スペースをうまく確保できるよう、パーテーションや仕切りなどを活用する必要がある	・グループ分けや活動内容の工夫 ・他施設の利用
3	階段があり、すべての人に使いやすい場所ではない	・施設の設計上仕方がないが、すべての人が使いやすい場所を考えていく	・他施設の利用 ・階段を上る際に楽しいイラストやポップの掲示をする

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ワンライフ OKAZAKid's

公表日 令和7年12月1日

利用児童数 27　　回収数 16

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	1				安全性を考慮して、プログラム内容等を考えていきたいと覆います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	0	4			国に規定に基づいて職員を配置しております。□
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	2	2	2	◦階段があるので、みんなの場所としてバリアフリーにはなっていない。	施設の設計上会談があるのは仕方ありませんが、階段を上る際に楽しいポップを貼るなど工夫して参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	0	0	1		これからも、清潔な環境の中でプログラムを実施してまいります。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1	0	0		専門性のあるスタッフから支援をすることができるように、配置を意識しながらその日の流れを考えています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	15	0	0	1		プログラムは毎日変わりますが、工夫しながらプログラムを考え、行っています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	0	0	0		日々の様子などをお伝えし、保護者様と一緒に連携を取りながら進めてまいります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	0	0	1		モニタリングを行いながら、適切な支援ができるよう、スタッフ一同取り組んでいきたいと思います。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	0	0	0		計画に沿った支援が提供できるよう、工夫していきたいと思います。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	0	0	0		毎日プログラムの内容を変えながら、一人一人に合ったやり方を考え、取り組んでいます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	1	0	8		交流の機会があまりないので、今後計画をしていきたいと思います。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	1	1	0		今後も丁寧に説明をしてまいります。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	0	1	0		保護者様に分かりやすいよう、丁寧に説明してまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	1	2	3		週末に、ご家族参加のペアレントトレーニングを企画していきたいと思います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15	0	0	1		毎日の様子をお伝えさせていただいておりますが、これからも連携を密に取りあっていきたいと思います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	0	1	0		年度末に面談を企画しています。その際にご家族の困りごと等をお聞きし、事業所で活かせるようにしています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	0	0	0		保護者様のニーズを取り入れながら、行ってまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	2	1	4		父母の会や保護者会はまだ企画がないので、今後検討していきたいと思います。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1	0	3		相談等については、迅速かつ丁寧に対応させていただいておりますが、相談しやすい環境つくりを今後も続けていきたいと思います。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	0	0	0		写真やイラスト等を使いながら、情報伝達が上手くいくように、取り組んでいます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	0	0	2		定期的にSNSやホームページでプログラムの様子を配信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	0	0	2		個人情報の取り扱いには十分に注意しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	0	0	7		各マニュアルがあるのですが、保護者様まで周知が上手くできていない場合があるので、周知を徹底していきたいと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	0	0	6		避難訓練を定期的に行っておりますが、保護者様まで伝わっていないことがあるので、周知を徹底していきたいと思います。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	14	0	0	2		安全を考えながらプログラムを考え、スタッフの配置や人数を工夫しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	0	0	2		ケガ等発生した際は、迅速に対応し保護者様にも連絡を行っています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	16	0	0	0		安心して通所ができるように、日々のコミュニケーションを大切にしていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16	0	0	0		楽しく学びになるようなプログラムを考えてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	0	0	0		安心して通っていただけるよう、これからもいろいろなプログラムを考えていきたいと思います。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	ワンライフ OKAZAKid's

公表日 令和7年12月1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	0	7	スペースに応じて、活動のプログラムを考えて行っています。	集中できる場所、スペースがもう少しあるとよい。 利用者に対してのスペースがプログラム内容によって狭く感じることがある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	2	5	国で定められている職員配置をしております。	グループをもっと分けた方がより良い支援ができる。 利用者さんの状況によってはマンツーマンで付いて支援を行う必要がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	イラスト等を使い、子どもたちが日々過ごしやすい環境と整えています。	2階への移動が階段のみなので、安全に登れる工夫や、トレーニングをしたい。 部屋の中の設備の配置を考え、構造化できるようにしていきたいです。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	4	毎日清掃を行い、子どもたちが安心、安全に通うことができるようにしています。	細かな部分まで清掃ができるように、スタッフで掃除箇所を分担し行えるようにしていきたいと思います。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	3	パーテーションを活用するなどで一時的に区切って支援している。	個室や個別の訓練ができるスペースがあるとよい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	3	振り返りの時間を設けています。	スタッフ同士でより良い支援ができるよう、日々の支援の振り返りを徹底していきたいと思います。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	3	1年に1度行い、ホームページにて公開している。	業務改善に繋がる内容があるので、スタッフ間でアンケート結果を共有し、より良い業務に取り組んでいきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	3	朝礼を行い、前日のプログラムを振り返っている。その際に、改善点などを話し合う機会がある。	日々の支援を振り返り、スタッフが意見できるような環境を整えていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		定期的に行うことができるようにしていきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	毎月研修を行っています。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	3	スタッフで話し合い行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	6	0	計画に沿った支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	一人一人に合ったツールを選択しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	4	支援内容の設定を行い、その項目に沿った支援を行っています。	放課後等デイサービスガイドラインについて、把握できていないスタッフもいると思うので、スタッフみんなで確認することで、より良い支援に繋げていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	固定化されたプログラムにならないよう、チームでいろいろな内容を考えています。	チームとして立案を進め、いろいろな活動を取り入れていきたいと思います。

援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	同じプログラムであっても内容を変更しながら行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	行っています。	個別支援がしにくい(1人に対して1人がつくほどスタッフが多くない場合がある)ため、グループ支援と組み合わせている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	毎日行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	3	3	次の日の朝礼で行うが、重要な件についてはその日に振り返りを行う。	できている日とできていない日がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	保護者様が求めているものをみんなで見直ししながら、より良い支援が展開できるようにしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5	1	行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	自分で選択する場をつくり、自己決定する力を育てるための支援を行っている。	自己決定ができるように、使えるツールを使いながら支援を行っています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	4	学校の先生による事業所見学やスタッフが学校見学に行った際に、様子を共有している。	関係機関との連携を深め、利用者さんの状況を事業所だけでなく、他事業所等と繋がりあう支援をしていきたいと思います。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	4	市役所とのつながりがある。	地域との繋がりがまだ少ないので、今後検討していきたいと感じます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	行っています。	お迎え時にその日のできごと等を聞き、スタッフ間で共有することを意識しています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	法人内の児童発達支援事業所との情報共有ができている。	就学前の情報が多く得られていない為、関係機関との連携を密に行っていきたいと思います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	4	2		研修等で助言が得られることもありますが、今後実際の支援の様子を見ていただく機会がつくれると良いと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		今後行っていきたいと考えています。 繋がりがとても大事になるので、地域とのコミュニケーションを密に取ります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5	岡崎市通所支援事業所連絡会に参加している。	管理者が参加する場合は多いが、他のスタッフが出席する機会が少ないので今後設けていく必要があります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1	行っています。	その日の様子は、帰りの際にお伝えしています。相談事や困り事があった際は、柔軟に対応できるようにしていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		ペアレントトレーニングの機会を今後作っていきたいと考えています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に丁寧な説明を心がけ、また翻訳が必要な場合は、通訳のスタッフを一緒に配置して行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	設けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	6	0	行っています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1	行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	6	保護者も参加のイベントを開催。	父母の会はまだできていないが、家族一緒に参加のプログラムを行っている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	苦情があった際は、迅速に対応できるような体制を整えており、適切な対応ができるようにしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	SNSを通じて、活動内容の共有もしています	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	利用にあたって個人情報をいだいております。取扱いに留意するようスタッフ間で注意して仕事を行っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		地域との繋がりが少ないので、地域の行事等に参加する機会を設けていきたいと思います
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	確認しスタッフで共有しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		指示書をもらい、対応を進めていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	6	0		非常時の対応について、説明はしているが、今後分かりやすい資料等を提供しより深く知ってもらえるような体制を整えたいと思います。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	2	行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	虐待防止研修を受講し、適切な支援ができるようにしています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1		指針の理解を進められるよう、定期的に見直しを行います。